

第 四 回 建 築 ツ ア ー

@ O S A K A Ⅲ

コットン

①ダイビル本館 (旧大阪ビルヂング 旧ダイビル)

所在地: 北区中之島 3-6-32

建築年:1925年(大正14)

設計:渡辺節



ネオロマネスク様式。ファサード(玄関)とエントランスホールを残し2013年にリニューアル。ファサードのロマネスク風の半円アーチの上に大国貞蔵作の「鷹と少女の像」、左右の竜山石の装飾には様々な動植物・謎の人面など興味深い。2階吹き抜けのエントランスホールが華麗。そしてリニューアルに合わせて、ダイビルの歴史をつづる「ダイビルサロン”1923”」を設置(保存されていた扉や棚などを修理・再利用)している。

村野藤吾(そごう大阪店,輸出繊維会館)や内藤多仲(東京タワー設計)

など後の建築史を代表する建築家が数多く携わった歴史的建築物。



◎Hi_Phi (ハイファイ)

所在地: 北区中之島 3-6-16(関西電力本店前) 制作年: 2004年(平成16)

制作: トーマス・シャノン

ステンレス製のオブジェで楕円の長い所と短い所の比が黄金比とのこと。一番下の楕円が安定、真ん中が成長、一番上が力強さ。

f1(福島第一原発)の基本的問題点は関電でも同じことだろう!

黄金比は $1 : \frac{1 + \sqrt{5}}{2} = 1 : 1.618$



②国立国際美術館

所在地: 北区中之島 4-2-55 建築年: 2004年

設計: シーザー・ペリ & アソシエーツジャパン

船の帆船と竹の生命力をイメージしたデザイン



③ リストランテ・サリーレ (旧大阪産業信用金庫)

所在地：西区土佐堀 1-6-18 建築年：(大正末期)

設計：不詳

正面の庇を兼ねた重厚なバルコニーと絵画の額縁を思わせる大きなエントランスの縁取りが特徴のビルがインテリアを改装。グレイから赤へ新たにタイルを張って2006年レストランとして生まれ変わった。



④ ダコタハウス (旧太平ビル、旧ロボビル)

所在地：西区江戸堀 1-23-30 建築年：(大正末期～昭和初期)

設計：不詳

左右非対称なファサード、窓を縦につなぐ3本のアクセント、庇を互い違いにしてデザインに変化を持たせた建物。

一時期、雑誌でよく紹介されていたという。



⑤ 日本基督教団 大阪教会



所在地：西区江戸堀 1-23-17

設計：ウィリアム メレル ヴォーリス(一柳米来留)

建築年：1922年(大正11)

フランス積みのレンガ、バラ窓と石のせり持ちを真ん中に持ったのが特徴的

なロマネスク様式の教会。中はシンプルかつ落ち着いた感じで小ぶりのステンドグラスが光る。



以前のツアーで行ったヴォーリス建築の大丸心斎橋店、神戸旧居留地 38 番館とは異なり、ゆっくりと静寂の時間が流れる空間が素敵だ。

彼の言葉：「建物の風格は人間の人格と同じく、外見よりむしろ内容にある」

⑥江戸堀コダマビル

所在地：西区江戸堀 1-10-26 建築年：1935 年（昭和 10 年）

設計：岡本工務店

ヴォーリズの影響が伺えるスパニッシュスタイル。2階の窓のバルコニーから3階へと一組になったねじり棒のような装飾を伴った小窓と同じく2～3階を一組とした三連窓が表情に一層の魅力を与える。



⑦京町ビル

所在地：西区京町堀 1-7-1 建築年：1926 年（大正 15）

設計：岡部顕則

外観はセセッションスタイルが残った全体的に落ち着いた印象だが、最上部と窓の間にテラコッタが嵌め込まれ、ビルに華やかさを添えている。



⑧安田ビル（第一ビル）

所在地：西区京町堀 1-8-31 建築年：1936 年（昭和 11）

設計：不詳

薄茶色のスクラッチタイルと4本の装飾的な円柱で構成されたファサードが特徴。

焼夷弾が落とされ天井は破壊されたが3階の床で止まった跡がある。



◎信濃橋洋画研究所跡

所在地：西区靱本町 1-11

大阪に香り高い文化を根づかせようと、大阪出身の洋画家小出檜重・国枝金三・鍋井克之らが中心になって、大正 13 年に開設された信濃橋洋画研究所は、理論と実技を組み合わせた特色ある教育を行った。

そしてその中から、多くの専門画家を輩出した。



⑨ 立売堀ビルディング

所在地：西区立売堀 1-5-2 建築年：1927年（昭和2）

設計：鴻池組

垂直線を強調したシンプルな外観と柱上部の飾りが特徴。

『いいビルの写真集 WEST』の高岡伸一さんが2012年に改修設計されたようです。



⑩ 長瀬産業

所在地：西区新町 1-1-17

建築年：1928年（昭和3）

設計：設楽貞雄

外壁のスクラッチタイルとバルコニー、アーチ型窓が特徴的なビルで中央と上部に装飾密度の高い要素を置いている。右隣の新館も統一感のある意匠で好感が持てる。



設楽貞雄は初代通天閣を設計した人として知られている。

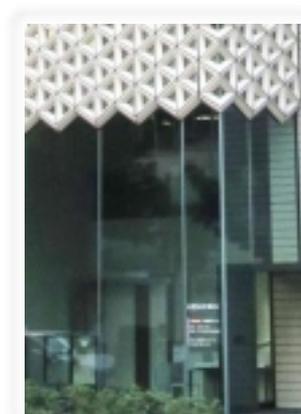
⑪ LIXIL 四ッ橋ビル

所在地：西区新町 1-7-1 建築年：2007年（平成19）

設計：日建設計

ガラスと組み合わせた正三角形のテラコッタブロックを積層したカーテンウォールを約8000個積み上げ、外壁として機能させている。

タイルを外壁として用いた設計手法が評価され、2008年グッドデザイン賞などを受ける。



⑫新町橋

建築年：1672年（寛文12）

新町遊郭東側の通路として西横堀川に架けられた。橋の東は、道頓堀の繁華街ともつながり、この橋の上まで夜店が並び賑わった。



高田郁 作の「八朔の雪」（みをつくし料理帖1）

に下記記述があり、また濡が四ツ橋生まれなので井戸もこの近くだったかも知れない。

『幼馴染の野江と一緒にいた濡が下駄を「花の井」とも「足洗いの井戸」とも呼ばれる新町廓の井戸に入れてしまった。』

⑬オーガニックビル

所在地：中央区南船場 4-7-21

建築年：1993年（平成5年）

設計：ガエターノ・ペッシェ、

UD コンサルタンツ



自然と共生をテーマにオレンジ色の壁面に配された132個のポットには全て違う種類の植物が植わる。（水やりは自動で制御される）スリット窓が印象的。

ビル内部のサイケデリックっぽい色使いとオブジェが、ぶっ飛びの異空間を提供してくれる！

⑭

所在地 中央区南船場 4-13-4

建築年：2001年（平成13年）

設計：安藤忠雄

グリッドを基本としたコンクリートの外壁にすりガラスの張られた組み合わせが安藤建築らしい。



◎クリスタ長堀の排気塔壁画「OSAKA VICKI」

制作年：1998年（平成10年）

制作：ロイ・リキテンシュタイン

（1964年の作品「VICKI」の大阪バージョン）

日本宝くじ協会の助成で完成（著作権取得だけで約5千万円）

ロイ・リキテンシュタイン：

アンディ・ウォーホルらとともにポップ・アートの代表的な画家。

新聞連載の通俗な漫画の1コマを、印刷インクのドットまで含めてキャンヴァスに拡大して描いた作品群で有名。



～ Copyright (C) コットン ～

参考文献：

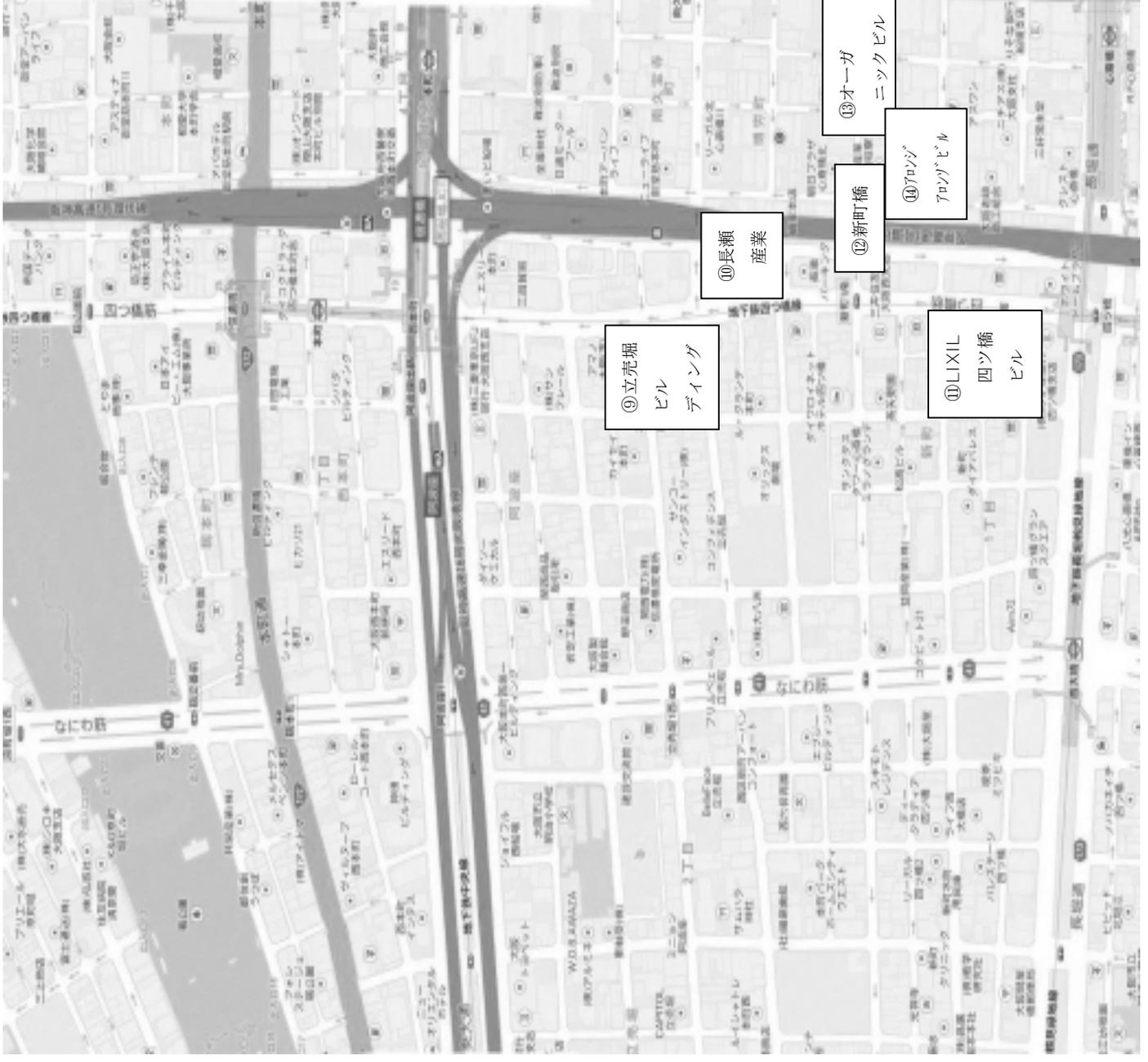
「大大阪モダン建築」	橋爪紳也	青幻舎
「日本の近代建築（上・下）」	藤森照信	岩波新書
「大阪ビル景」	石原祥	光村推古書院

Het architecture —大阪建築— (<http://www.hetgallery.com/>)

近代建築散歩（京都・大阪・神戸編）宮本和義-アトリエM5 小学館

関西の近代建築 石田潤一郎 中央公論美術出版

近代名建築浪花写真館 福島明博 日本機関紙出版センター



- ① ダイビル
- ② 国立国際美術館
- ③ リストランテ・サリール
- ④ ダコタハウス
- ⑤ 大阪教会
- ⑥ 江戸堀コダマビル
- ⑦ 京町ビル
- ⑧ 安田ビル (第一ビル)
- ⑨ 立売堀ビルディング
- ⑩ 長瀬産業
- ⑪ LIXIL 四ツ橋ビル
- ⑫ 新町橋
- ⑬ オーガニックビル
- ⑭ アロンゾアロンゾビル

第四回建築ツアー@OSAKAⅢ

2014/4/12 (土)

